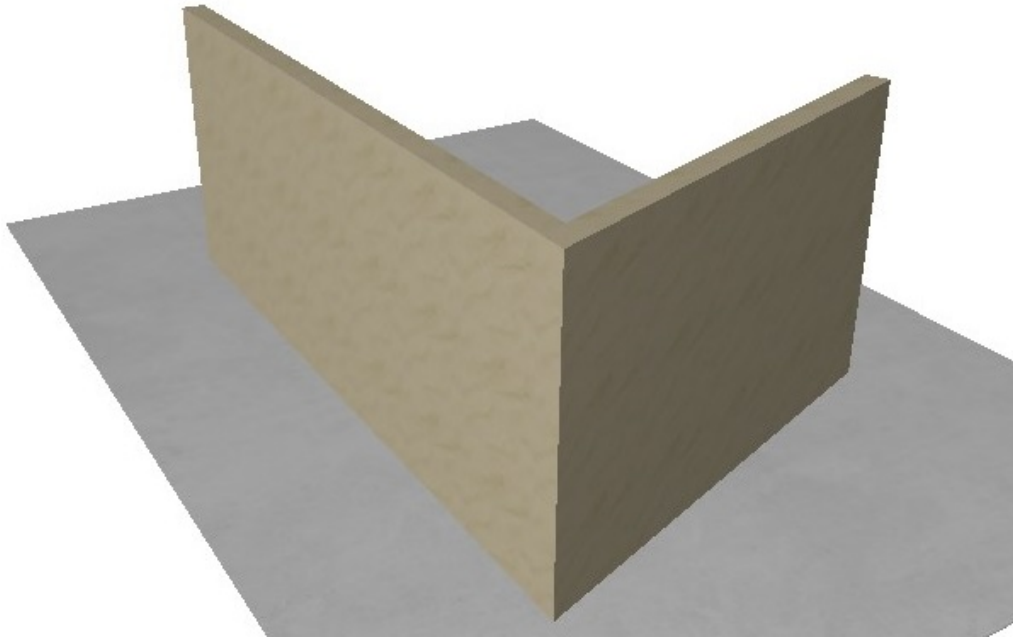


操作方法

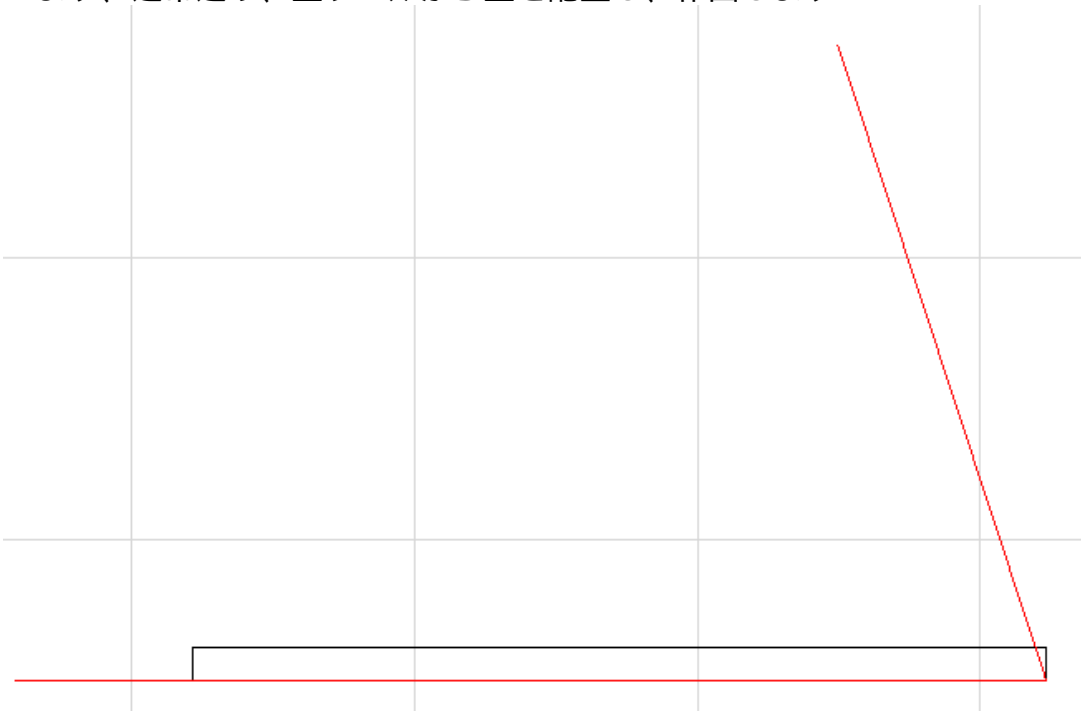
壁の包絡を利用し、壁の先端をカットする方法

平面図で壁の先端を加工する方法です。

(
同じ設定(レイヤー、高さ)同士の壁が包絡することを利用して、加工した様に見せる方法)

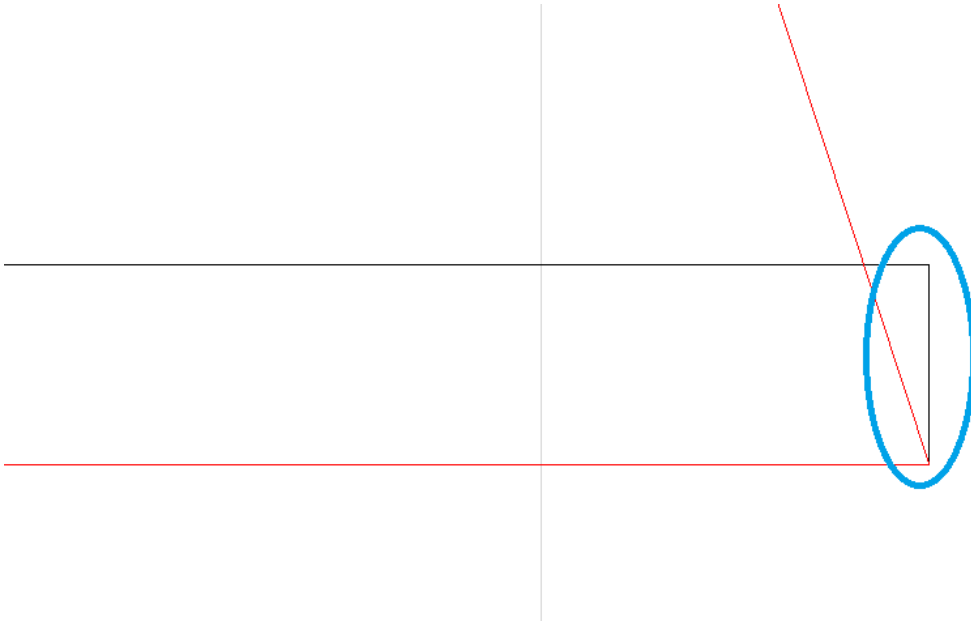


・まず、通常通り、壁ツールから壁を配置し、作図します



・今回は、下記の赤の斜線からハミ出た部分(下記画像-青丸の部分)を編集してみます

操作方法

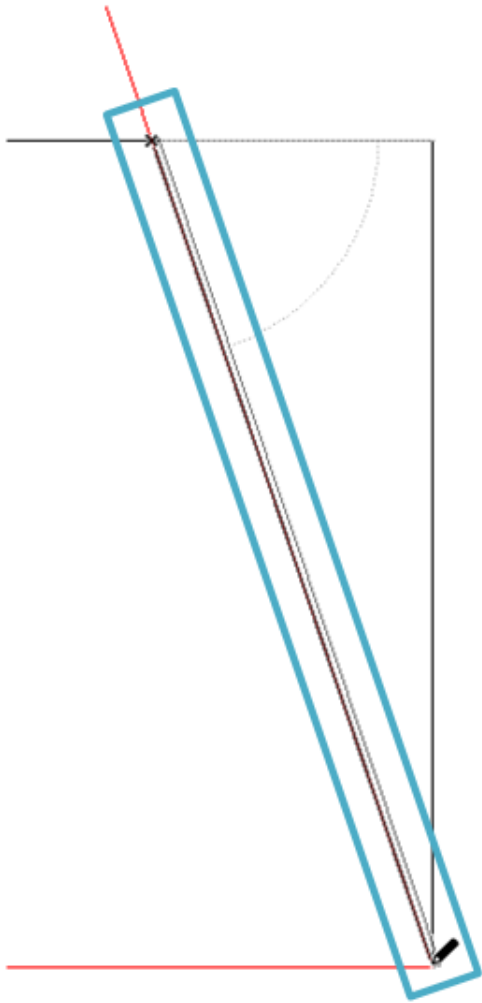


・作図済みの壁に対し、編集用の壁（ ）を配置します。

（ ）編集用の「壁の厚さ」は1mmに設定、および、レイヤー、壁の高さ、基準レベル、材料は、既に作図済みの壁と同じ設定にしておきます

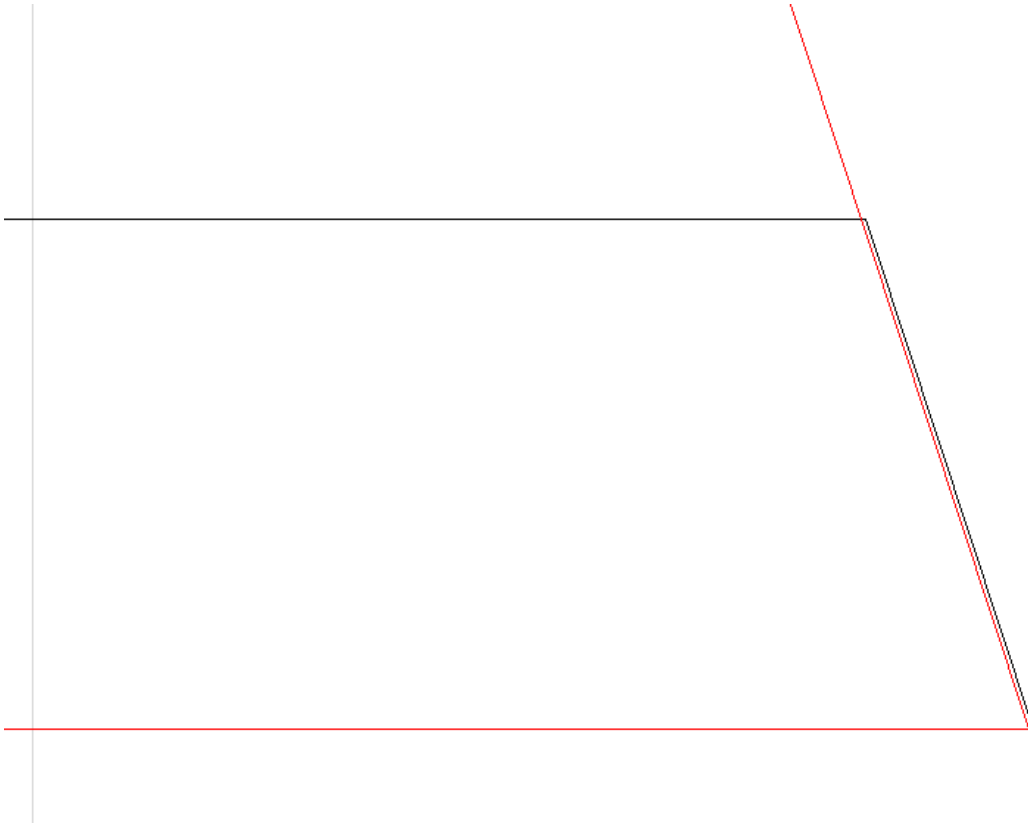
今回は赤の斜線からハミ出た部分を加工する
為、赤の斜線の箇所に沿って、編集用の壁を配置します

操作方法



・元々、**作図していた壁と編集用の壁が包絡する**ことにより、加工（カット）された様に表現されます。これで完成です

操作方法



【加工した壁を真上（上空）から見た画像】



【加工した壁の3Dパース画像】



操作方法

関連項目

- [壁が繋がらない](#)
- [包絡解除](#)

一意的なソリューション ID: #1939

製作者: 近石

最終更新: 2019-12-26 10:19